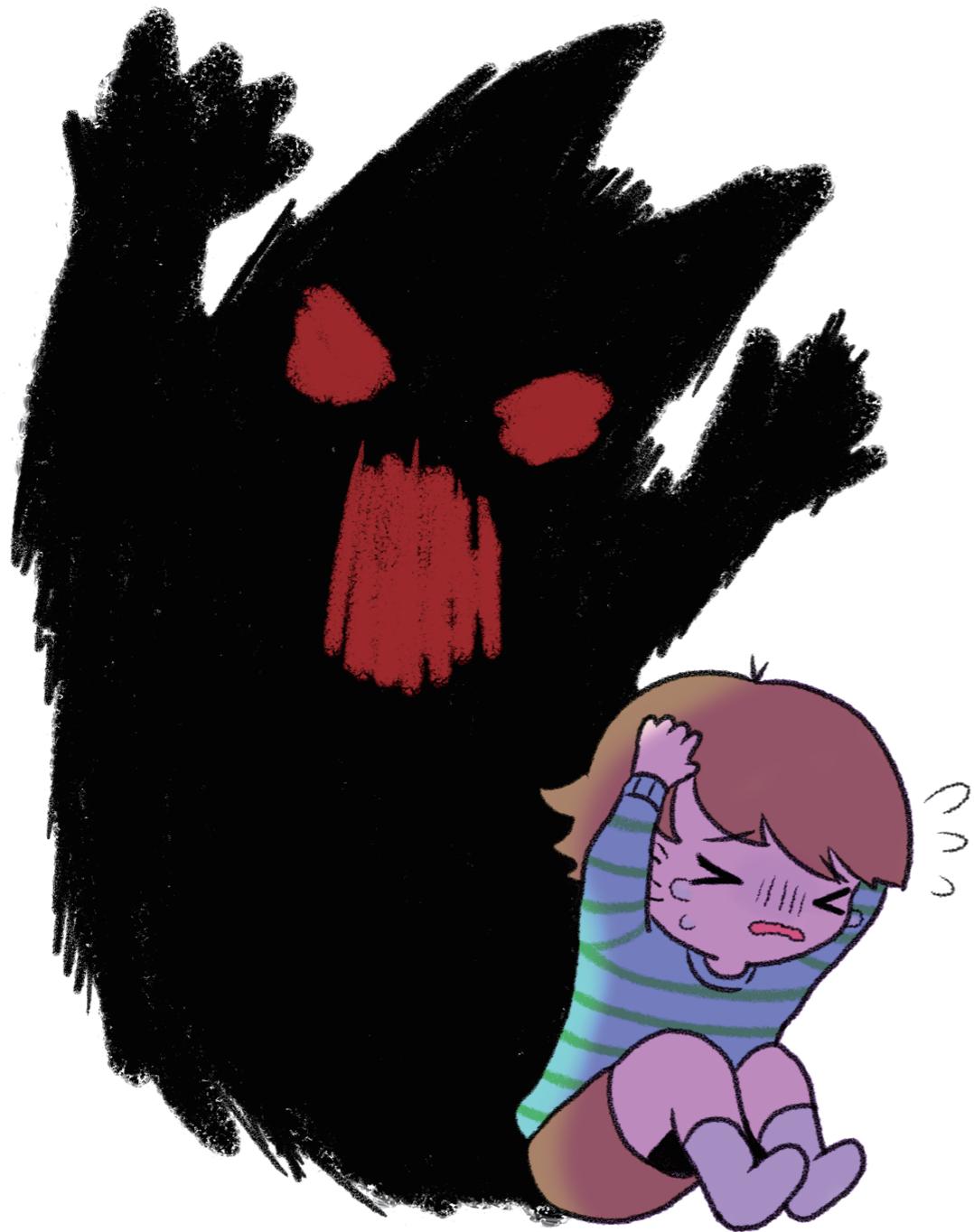


# いじわるパパとバイバイ

シグナル・フォー・ヘルプ



作 深澤璃桜



ボクのパパはいじわるです。  
だってママとボクをいじめるんだもの。



ある日、ママはいいます。  
「ママに まかせなさい！」  
するとパソコンでお友達と  
テレビ電話をしはじめました。



なにをするんだろう？  
ボクはフシギに<sup>おも</sup>いながらママを  
じつと<sup>み</sup>見ます。



あれれ？  
ママ <sup>て</sup>手をグッパ<sup>ー</sup>してる。  
なんだろう？なんだろう？  
それを見たお友<sup>み</sup>達<sup>ともだち</sup>は うんうん うなずいて しばらくすると  
テレビ通<sup>つうわ</sup>話をやめました。



しばらくすると ピンポーン！  
チャイムがなりました。だれでだろう？  
いじわるパパが玄関げんかんを開けると .....？



「こんにちは たすけにきました。」  
そこにいたのはおまわりさんです。  
なんで?なんで?



シグナル・フォー・ヘルプって  
どうなのよ



これのことを

なんと ママのお友達<sup>ともだち</sup>から  
通報<sup>つうほう</sup>を受け きたそうです。  
「さっきママがお友達<sup>ともだち</sup>に  
シグナル・フォー・ヘルプで  
助<sup>たす</sup>けてって手<sup>て</sup>でサインをしたからよ」  
とママはいいました。



そっか！さっきのグッパは  
たす助けてのサインだったんだね！  
ママと、お友達ともだちのおかげで  
いじわるパパと  
バイバイできたよ  
よかった よかった